

## 編集後記

中京国文学第二十七号をお届けする。今号は、本学教員、大学院修了生、大学院博士課程学生、文学部研究生より計六本の多彩な論文の投稿があった。投稿していただいた会員諸氏に深謝申し上げます。

さて今年度は新任の教員を一度に四名迎えることが出来た。詳細は「彙報」をご覧いただきたいが、専門分野も多彩であり、国文学会の更なる発展に大いに寄与していただけるものと思う。

また平成十九年度総会の決定により、今号より「会報」を「会員近況報告」「会員名簿」を除いて中京国文学に合冊し、「会員近況報告」「会員名簿」は、教員の退職記念等「記念号」の発行時にのみ「付録」として発行することとなった。

毎年「会報」を楽しむにされていた会員の多いことは重々承知している。しかし個人情報を巡る問題への対処、或いは学会改革の一環として、会員各位にはご海容、ご理解いただくことを平にお願い申し上げますと共に、これまで同様本会へのご支援を賜るよう心からお願いする次第である。

(徳)

### 中京国文学 第二十七号

平成二十年三月十日 印刷

平成二十年三月十五日 発行

編集兼  
発行者 中京大学国文学会

代表 飯室 勝彦

名古屋市昭和区八事本町一〇二ノ二

電話 (〇五二) 八三五―七一一

振替 名古屋 六一六〇〇三〇

印刷所 株式会社 一誠社

名古屋市昭和区下構町二ノ二二

電話 (〇五二) 八五一―一二七一